

藝藩通志

奴可郡二三

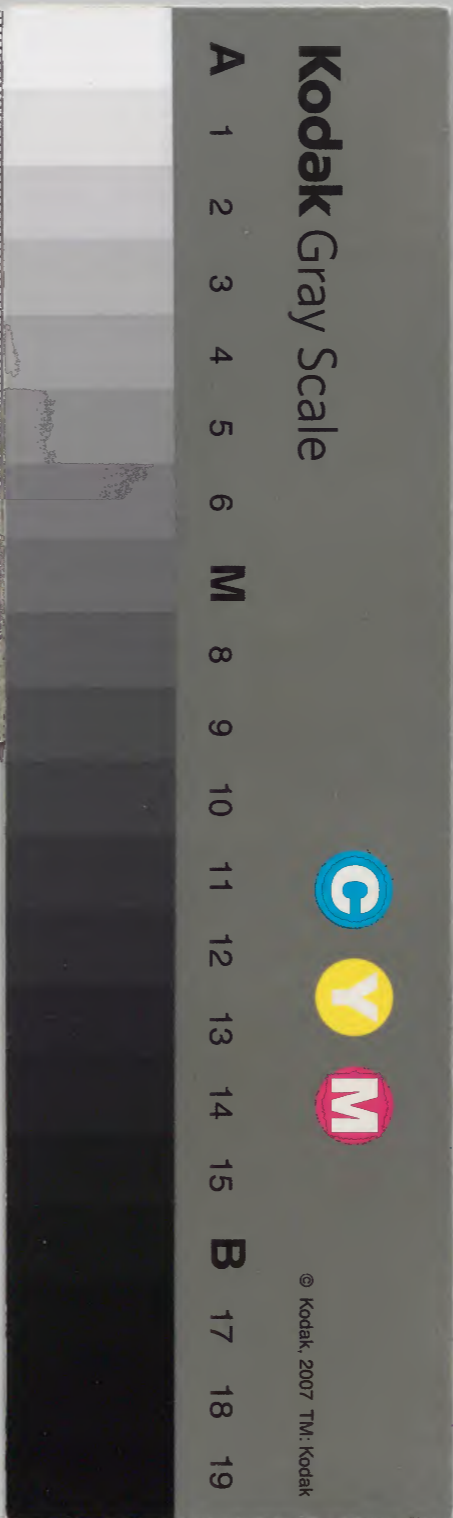
百十七百十八

和書門類			
二二六〇	二〇二	二〇二	九二
函	架	冊	冊

內閣文庫	
二二六〇	二二六〇
函	冊
架	冊

内 二二〇一六號

内閣文庫	
番號	和 22605
冊數	92 (70)
函號	170 171



外
部

卷之五十七

備後國取可郎

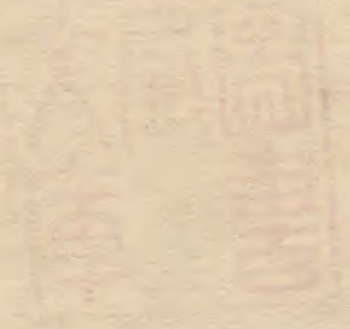
讀板

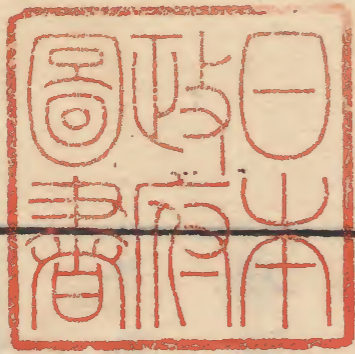
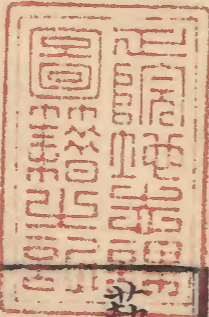
官

判

司

行





藝蕃通志卷百十七

備後國奴可郡二

疆域形勢

官道詳誌

村里

田畝歲額

租稅



内 一一〇一六號



林外
田嶋若殿
林
守直親政
難野海榮



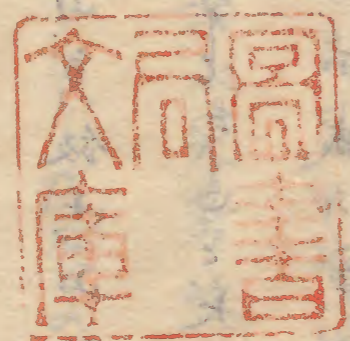
謝刻因以下様二
藝藩通志卷百十七

藝藩通志卷百十七

備後國奴可郡二

疆域形勢

風象附



奴可郡、國の北にあり、藩府廣島に去るに二
十四里、郡名文字、倭名抄、拾芥抄等、皆奴可なり、中
古、或は怒哥、奴哥、小他子、皆何字なり、原は額なり
強し、郡内、小奴可村、額部と云ふ地あり、廣五里、東ハ
小串村あり、西ハ栗大石村あり、夜四里、南ハ未

當作栗村大戸

渡村より、小鳥原村に至る。四隣、東ハ備中国、皆
 多郡、南ハ同川上郡、備後、神石、甲奴二郡、西ハ三上
 惠籙二郡、小出雲國、仁多郡、伯耆國、日野郡より
 西城町より、郡本と云々、此郡、西ハ山、東ハ山、
 當郡、西より、北東に至り、今、柳山、烏帽子山、道後山、
 猫山、三國山、古蘇山、熊坂山、多飯山、おどの高山
 列り立てり、南ハ市神山と云々、おど、大槩、土地、低く
 して、田野の境も、阿り、川ハ西城川、東城川の二水

と、大なりと云々、皆郡小より出で、西城川ハ、西ハ流る
 東城川ハ、東ハ流る、其他、諸水、大槩、此二川ハ入る
 其地、道ハ藩表の東ハ、おど、出で、隘要の郡なり、
 當郡、氣候、他郡ハ比、すむハ、より、寒地、より、小
 境の村ハ、更ハ、甚ハ、民俗、淳朴、あり、産業ハ、小ハ
 鉄爐、南ハ、鍛冶、と、大なりと云々、鉄と、石、と、炭、と、焼
 く者、多し、凡、當郡ハ、山村、寒郷、稼穡、のみ、あり、鉄、ら
 氏、古ハ、鉄業、盛ん、あり、利、厚、多し、今ハ、鉄、價

賤く、その業や、衰へ下、民の生理乏し、
（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な文字が並ぶ）

官道 stations
備中新見 踏（西）八、三上郡界 平子村（東）八 備

中哲多郡界 福代村 少至五里 程 九至里 廿七町

平子村 一里 十一町 餘 西城町 三町 大佐村 一里

八町 餘 （坂） 保田村 廿三町 川鳥村 一里 四町 許

菅村 十四町 （坂） 法原村 廿四町 餘 川西村 一里 一

町 餘 （東） 城川 舟渡 （東） 川東村 八町 餘 福代村 八町

餘 （里） 上岩 （七） 小町 （七） 小町



昔ハ三上郡在原野ヨリ未渡村通り往還セ
 西ノ見下里塚ノ如シト未渡村継場也
 寺ノ小也西城通り東城ノ至所此道ハ新路
 ハナレテ福代村以上里塚ノ中廿一里四里
 備中故路一西ハ三上郡界始終村ヨリ東ハ備中
 哲多郡界福代村ノ至里凡四里九町餘始
 終村廿一町五町終未渡村一里十町餘帝釈町板
 里塚水沼里塚二座一ハ有頭宗山村一里九町一ハ孝徳本ノ如リ

川西村廿九町東城町川東村福代村上小同
 伯耆路多里越西南三上郡界平子村ヨリ北ハ伯
 耆界三板村ヨリ凡六里十三町餘平子村一里
 十一町餘西城町三町大佐村廿八町餘八鳥村
 一里廿町餘高尾村一町小鳥原村一里廿五町
 餘三板村三十一町餘
 出雲路横田越西城町五町餘入江村一町餘中野
 村廿九町餘今西七町餘別所十一町餘日錫三



さういふ未渡村、傍迫の郷名なりや、今ハ大富庄、東
 庄、三板庄の名ある此ハ少ク、庄内の村ハ唯十六村
 有り、其餘ハ庄名ナシ、村数ハ四十一名と有りて
 左のトシ、
 中古一郡三十一村、少ク、庄号ハ十二のハ
 十四村、西條ハ村、此二名のみ、少ク、餘ハ庄
 号ナシトイフ、又古ハ郡と西條、東條二保ハ分ちテ
 支配チシトモ、一ハ或ハ未渡、始終ト鬼神庄、小奴
 可、小鳥原、高尾、加谷ト猫ハ庄、所尾、垣原、竹森、内堀
 栗田、清原ト大板庄、小半、上千鳥、下千鳥、森脇ト姑
 蘇庄、森川、島田殿、保田、菅田、黒山中ト飯ハ庄、津木
 ト鬼の庄ト、よなど書ク所、鬼のあきト、今皆郡帳
 不用ヒキ、所ナリ、按小鬼神、猫、大板ハ山の名ナリ、
 されハ左号ハ稱チシ、モモあり、少ク、保ハ考小備ナ

西城町、以下九村ト、大富庄ト稱ス、是ハ栗村大
 富山ヨリ出テ、家名ナリ、西城の字、天正比ハ
 西條ト書ク、一ト寛永中ヨリ、城の字、小改メ、
 ト是也、廣五町、裏八町、一市南ハ、山道ト、東ハ川
 小界ハ、西ハ山林ナリ、居民、市中ハ、工高、割鉄場
 二所あり、市端ハ、農夫備ナリ、昔ハ、
 入江村、古ハ、上久里ト稱チ、ト以テ、伊ハ、少ク、旧



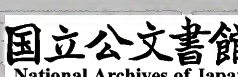
八栗村と一村あり、之を廣廿町、夜十一町、東の
方ハ土地稍低ク、西南ハの境ハ皆山あり、西尤
高シ、枝郷數區ハ分き、入り江川、大屋川、二流也
り、水多シ、水手乏シ、憂ハ居民農餘山業あり、
別所、田、鋤、尺田、三名ハ、皆飛郷あり、地勢大小隔
別、土地も廣ク、ハ、各其大畧ヲ記シ、別所ハ、寛
永比の帖ハ、別村あり、下の二名同上、廣廿町、夜
十町、西ハ、山、東南の間ハ、田あり、大川と畧也、

小川二流、一よりテ大川ハ、入リ、民産山業あり、田
鋤ハ、廣一里、十四町、夜三十町、四方皆山あり、數
區ハ分き居リ、油木、尺田の二川と通リ、澗、派、此
小注ク、居民炭ヲ燒ク、且鉄ヲ鑄、送リ、割鉄場一
所あり、其用木ヲ伐リ、生理ハ助トシ、尺田ハ、廣
三十町、夜一里、十町、上中下、三分、深山、出
谷あり、生理ハ、銀あり、ト、田、鋤、ハ、甚シ、川一流
南ハ、走リ、



栗村 古ハ、久里ノ字セ用也。温田ノ家ナリ。一ノ土
 の黒キセシメ、今枝郷、大戸セ併セ。栗大石
 村トモ呼ビ、本郷ハ廣五町、裏三十一町、東南ハ
 比ラケテ、西城川ハ界ト、西ハ山ナリ、薪柴ハ
 乏シ、大戸ハ廣六町、裏廿町、左右皆山ナリ、農餘
 炭薪セ、西城町ハ出シ賣ル。
 平子村 廣三十二町、裏一里三十町、西ハ地
 開ケテ、西株川ハ界ト、東南ハ山嶺ナリ、居民ノ

業、粗前村ハ同シ、
 大佐村 廣三十一町、裏一里廿五町、地勢粗、平子
 ハ同シ、谷川敷流、西城川ハ入リ、村内、五日市ト
 呼ビ、割鉄場多シ、民産上ハ同シ、
 大屋村 古、或ハ大矢ト書ケリ、廣三十町、裏二里
 十五町、南西ハ山立ナリ、東ハ山ト、山境ナ
 リ、本郷ハ谷水ノミ、早傷ハ苦ト、飛郷、今日ハ
 他村ト隔テ、一里十町ハ東ナリ、廣七町、裏十



二町、衣木ハ他村と隔テ、三里十町の東ハ小川
 廣一里四町、衣二里八町あり、此所ハ山深く寒ハ
 少テ、鉄坑少シ、生理の助とするのニ、
 中迫村 廣七町、衣十七町、四面山多シ、大屋川村
 中ノ流、飛御福山ハ中野村と隔テ、小川あり
 廣十一町、衣一里六町、山里少テ、地高位多シ、民
 以産ハ皆農餘ハ山業あり、下ニ村並小田あり、
 中野村 廣三十一町、衣一里一町、西ハ山と負

ハ、東南ハ大川ハ界ト、澗水これに入テ、西ハ橋
 飛御垣田ハ他村と隔テ、一里西あり、
 鳥村 服部ト多ク、今モ或ハ服部の字と用
 不、廣廿八町、衣三十一町、東西ハ皆山、但西境ハ
 大川と通シ、谷川の水、皆これに入リ、南ハ僅少ハ
 け下、隣村と接ク、
 高尾村 廣廿四町、衣十町、四面皆山、坂ハ界あり、
 水、模峠より出テ、村中と通シ、西南ハ走リ、農餘炭



焼、鉄穴の業あり、以下庄跡あり、

小島原村（或ハ）神鳥の字と用ふ（鷄ト）記あり、廣

三十町、表一里廿四町、山間の村あり、一水南小

向、下走、其左右、田宅あり、民農餘、大炭を焼

き、又西城町、及び伯耆、多里宿へ、錢と駄送り、

油木村、古ハ湯木と作り、又ハ涌喜と書たり、

若此村ハ、温泉あり、と云、一、中子村と云ハ、他郡

あり、多し、若く未と賣り、村々と思はる、廣二里

八町、表二里十八町、山中の村あり、小原川ハ、衣

木界より出、吾無川ハ、所井聖山より出、若く南小

走、即西城川の源あり、東北ハ、雲伯と接し、山

陽、山陰ハ、界あり、土地甚高寒あり、出雲國界

所、井聖原あり、村中ハ、番所を置く、鉄燧二所

あり、農餘炭を焼、二所、駄送り、

三坂村、若ハ、小奴可村の内、三坂聖より、廣野在

り、寛文四年、官地して、三坂村と名づく、（此）

邑官、小村源之丞、此後小芳あり、今小開基
 三丁と稱し、石碇と建て、村民二十餘、廣十
 八町、表一里四町、山中の村あり、東山の道後山
 尤高し、道後川、諸水に受て、東に奔る、即東城川
 の源なり、すして、土地高く、寒氣甚し、夏も暑く、若
 しん、すねど、蛇多く生し、人と蟹をかく僻郷なれ
 ど、鉄穴山林ありて、其業も盛なり、生理とあり、村
 中小市あり、
 小奴可村、郡日第一の廣き郷なり、額部といふ

地もあり、すねど、郡名の原つく一町あり、昔郡廳の
 あり、地なり、廣廿七町、表一里十四町、西
 小、高山お並ひ、伯耆と界し、番所を置く、東南
 山地打ひらけ、一水山の山間より来り、村中を
 南に流さず、田水も引く、村も小市あり、居民農
 餘、炭を焼き、薪を伐り、下の村に粗田、
 森村、廣廿町、表一里十四町、西小、各高山あり、
 東南も、小山多し、一川村中を通る、



田殿村 廣廿三町、袤十五町、西南小高山、北より東
小川山位くし、稍遠し、一水村西の山より出
東山流る、

保田村 廣三十町、袤廿三町、西小山高く、東南ハ
稍低し、一水西の山間より出、東山奈る、即帝釋
川の源なり、又一水ハ西南平子村小入る、其他
山溜もあり下、水利も、紫草多し、一里十四町
始終村 廣一里廿五町、袤二里十町、山多し、八

谷分る、一川東山流て、帝釋川小合ふ、水利村
多、前村小同し、
山中村 廣三十町、袤一里十四町、東山の間に
け、其餘四方小高山あり、帝釋川、水より来り、坂流
せり、村中と南と通る、
川鳥村 廣一里三町、袤廿五町、四境山多し、水ハ
小川のと、保田の水、西より来りて、山中村小入る、
三州谷と、山と隔て、東山の、一郷なり、

大山の麓、小より西へ山嶺屏のまゝ、列まゝ、
中の山、小山、日かげ、柴草と之しか
らむ、但土地高寒なり、西南東城川の上流を界
し、内堀の水来り、今も、
内堀村、舊、打堀の字、用、小、廣一里十七町、夜
一甲廿三町、西、小、若高山、多、東北、東南、小、同、
て、川、小、界、村、水、之、小、入、て、南、よ、出、此、地、も、亦
山、か、け、あ、て、字、所、な、り、

所尾村 廣廿一町、夜廿三町、東北、南、共、小、高山、お
り、西、地、低、く、川、小、界、中、郷、中、ハ、谷、川、の、こ、り、て
水、之、く、時、旱、傷、あり、
上千鳥村 廣十五町、夜三十五町、東北、高山、と、後
あり、西南、山、も、小山、お、連、る、一、川、村、小、の、山、より、出
て、郷、中、を、通、り、て、南、よ、知、る、
下千鳥村 廣六町、夜廿四町、東北、山、高、く、西南、ハ
ゆる、千鳥川、西、界、を、通、り、小、串、の、水、も、又、来、り、薪

紫如、之、

小串村 廣廿所、夜三十五町、四面山圍、一水村
の東、山中より出、南下千鳥山、斧、田地、山、
け多、

森脇村 廣三十所、夜廿八町、此地も四面山、
り、西千鳥川、より来り、會、西南、栗田村、山、流
き、

栗田村 以下五村、東の序と稱、当村、廣廿町

夜三十所、東西皆山、千鳥川、本郷と通、洞流と
受て、南、

請原村 廣三十所、夜廿町、四面多、山、より、東、城

川、より、来り、郷中と東、山、流、子、居民、夏月、岩、餘、
川、の、砂、を、洗、ひ、清、め、川、粉、鉄、を、取、り、是、迄、年、より
所、毫、と、云、

川西村 此村と、川東村と、大川の東西、山、あり、
以、名、を、得、と、見、より、廣十五町、夜一里十四町

東城町此
川山あり西南より北山林お連り東に平地東
城川あり久代宇山の二水も来り灌漑の便を
得り農餘山業あり

東城町 廣二町餘、表五町餘地、川西村の内小
あり、一市聚を成し、諸貨交易あり、淺野
孫左衛門兵力並小其家士を置り、藩の東疆を
守り、

川東村 廣三十一町、表三十五町、東に山林の

界南西に平地、東城川に界を、福代の水及び當
村諸水皆より入る、

福代村 廣十四町餘、表十五町、四方皆山、一水東
より西山通り、用水乏しく、時小旱損を惹き、此村

東境二本松に備中と国界の榜示碁あり、番所
一不を置り、

久代村 以下二村、三板庄と稱す、廣一里三十町
表一里三十五町、西に山あり、東に権現山とい

十四石九斗四升五合
 水田千二百三十六町九畝十一步
 木下千十六石七斗三升二勺二勺
 陸田千八十八町一畝八畝八步
 三千四百
 五十七石九斗四升四合五勺
 陸田宅地廿六町四畝一畝九步
 三百九十四石
 九斗六升五合
 東城町第宅下無微額二町四畝八畝廿八步

古荒上ノ高等微額ノ町三百三十五町九畝
 六斗二畝二步
 千七百八十五石九斗九升五
 合三勺
 西城町十二町九畝廿四步百十石一斗一升
 四合
 入江村二百一町二畝三畝廿四步八百三十六

八石八斗二升一合
 栗村九十五町三段七畝十五步八百廿一石二
 斗七升五合
 平子村百六十五町七段五畝廿七步七百十四
 石八斗一合
 大佐村百十町九段七畝廿一步七百三十石二
 斗七升六合
 大屋村百十一町四段九畝廿八步九百六石二

斗八升四合
 中迫村三十四町一段五畝九步二百七十四石
 九斗
 中野村八十五町二段五畝十五步千八十五石
 九斗四升一合
 八鳥村七十三町四段六畝七百四十九石三斗
 四升一合
 高尾村十五町五段三步百十四石

小島原村四十三町九段二畝三步三百六石三

升八合

油木村五十一町九段九畝十二步二百廿七石

六升七合

三板村三十九町二段八畝廿一步二百石二斗

小奴可村八十五町九段八畝廿七步八百十八

石七斗一升四合

森村八十町三段五畝十二步六百四十四石三

田斗一升四合

田殿村三十町二段廿一步百八十三石六斗四

升七合

保田村廿五町四段二畝十五步百九十石五斗

九合

始終村三十九町四段一畝廿一步二百七十一

石七斗二升二合

山中村三十八町九段八畝六步二百六十四石

山九斗三升三合
 川島村七十五町一畝九畝六步五百十九石七
 斗九升六合
 菅村三十九町五畝八畝三步三百石三斗九升
 斗六合
 竹森村五十一町四畝八畝十二步四百八石三
 斗四升五合
 田黒村廿七町八畝二畝十一步二百六十六石

三斗六升七合
 加谷村廿八町四畝一畝十五步百七十九石六
 斗四升
 塙原村三十七町四畝六畝六步四百廿六石九
 斗九升
 内堀村四十一町二畝三畝十二步四百三十四
 石四斗
 所尾村十五町六畝八畝六步百七十八石六斗

上子鳥村廿町一畝三畝六步百七十八石三斗
 下子鳥村十九町九畝六畝九步百三十七石四
 斗七升六合
 小串村廿五町八畝七畝廿一步百八十七石二
 斗二合
 素脇村十五町四畝四畝三歩百廿四石五斗

粟田村百五十二町三畝三畝三歩千三百八十
 九石一斗五合
 請原村廿三町一畝三畝百九十九石五斗
 川西村百十三町一畝一畝十九歩千百石一斗
 二升三合 此内百五十四石六斗
九合、東城町分
 川東村七十七町二畝六畝九歩千四十一石六
 斗九升六合
 福代村三十八町六畝三百七十四石三斗

久代村百八十町六段四畝廿四步、九百廿一

石六斗九升

戸字村百廿二町三畝五步、八百八十石八斗五

升六合

宇山村百四町三段九步、四百三十四石一斗

未渡村百三十一町三畝十以步、五百三十一石

八斗六合

東林村百五十二町二段三畝三斗五升八斗

右の外、額と附る新開田畝一町五段一畝

十二歩あり

紺屋灰運上銀八十匁一分

鑄物師運上銀四十五匁

爐所運上銀四貫四百八十匁

小鍛治炭運上銀九十四匁

鉄元運上銀一貫三百九十五匁

千割札銀二百匁

鉄馬札銀六十七匁三分三厘

時

藝藩通志卷百十八

備後國奴可郡

戸口

牛馬

山林

川瀆

池塘

社倉

西城町百八十三戸、七百七十三人 僧二人、医者三人、替者一人

入江村四十一戸、百九十三人 社一人、山伏一人、僧一人

同村別所十一戸、六十人 社一人、山伏一人

同村田鋤廿六戸、百十与入 社一人、山伏一人

同村尺田廿二戸、七十与入 社二人、山伏一人

栗村六十九戸、四百三十七人 社二人、山伏三人、屋者百

三十 四十

平子村六十八戸、三百六十一人 僧一人、替者二人、屋者三十九人

大佐村百七十四戸、七百六十一人 社二人、僧一人

大屋村百十三戸、五百十三人 社三人、僧一人

中迫村三十一戸、百四十八人 替者一人

中野村百十三戸、四百九十四人 社一人、僧一人

八鳥村八十四戸、四百九十九人 僧一人

高尾村廿四戸、九十二人 社一人

小鳥原村六十二戸、二百九十三人 社一人

油木村四十四戸、二百十七人 僧一人

三坂村五十五戸、二百五十三人 二 匠者

小奴可村百九十四戸、六百五十六人 社人二人 匠者一人

者一人 替者一人 屠者四十一人

森村百十八戸、四百廿九人 社人一人 僧一人 替者一人

田殿村廿四戸、九十八人

保田村三十六戸、百五十五人

始終村五十戸、百九十四人 社人一人 屠者五人

山中村四十戸、二百四人

川島村九十三戸、三百六十七人 社人一人

菅村四十五戸、百五十三人 社人一人 僧一人

竹森村六十二戸、百六十五人

田黒村四十一戸、百四十人 社人一人

加谷村三十二戸、百四十一人 社人一人

塩原村四十八戸、百八十七人 僧一人

内堀村七十一戸、二百八十七人 社人一人 僧一人

所尾村三十戸、二百廿人 屠者九人

上子鳥村三十九戸、百廿五人

下子鳥村三十戸、七十六人 社一人 僧一人

小串村三十九戸、百五十二人

森脇村廿三戸、六十八人

栗田村二百七戸、六百八十九人 社一人 僧三人 医者一人 替

者一人 居者 三十三人

請原村三十五戸、百廿五人 替者一人

東城町三百廿八戸、千八十一人 僧二人 山伏一人 替者二人

川西村百四十五戸、四百十五人 社二人 僧二人

川東村九十八戸、四百四十四人 社一人 僧二人 医者一人 居

者百八十人

福代村四十九戸、百人 社一人

久代村百六十七戸、六百四十九人 社二人 僧一人 替者一人

人居者 十四人

戸字村百四戸、三百三十七人 社二人 替者一人

宇山村七十六戸、二百六十九人 社一人 僧二人

赤渡村八十戸、三百三十二人

社人二人、僧一人、
医者一人、山伏二人

人原者
九人

赤渡村 八十戸、三百三十二人
社人二人、僧一人、
医者一人、山伏二人
人原者九人
赤渡村 八十戸、三百三十二人
社人二人、僧一人、
医者一人、山伏二人
人原者九人
赤渡村 八十戸、三百三十二人
社人二人、僧一人、
医者一人、山伏二人
人原者九人

牛馬 米百石、...

牛三千八百六隻

馬千四百四十三匹

西城町牛廿隻、馬十五匹

入江村牛九十二隻、馬十四匹

同村別所牛三十二隻

同村田鋤牛三十九隻、馬廿匹

同村尺田牛十八隻馬九匹

栗村牛百十六隻馬四十二匹

平子村牛百四十三隻馬三十三匹

大佐村牛百九十三隻馬廿二匹

大屋村牛百六十四隻馬六十五匹

中迫村牛五十三隻馬十四匹

中野村牛二百三十隻馬廿五匹

八鳥村牛百四十一隻馬廿一匹

高尾村牛十八隻馬廿三匹

小鳥原村牛九十六隻馬四十九匹

油木村牛六十九隻馬六十八匹

三坂村牛三十隻馬八十八匹

小奴可村牛六十五隻馬百三十五匹

森村牛九十隻馬百五十三匹

田殿村牛三十七隻馬十五匹

保田村牛九十三隻馬廿四匹

始終村牛六十二隻馬廿七匹

山中村牛五十五隻馬十五匹

川鳥村牛百四十八隻馬六十二匹

菅村牛四十一隻馬十九匹

竹森村牛九十四隻馬廿七匹

田黒村牛三十九隻馬三十五匹

加谷村牛三十八隻馬廿匹

塩原村牛三十一隻馬廿匹

内堀村牛五十五隻馬十五匹

所尾村牛廿五隻馬廿二匹

上千鳥村牛四十七隻馬五十七匹

下千鳥村牛廿九隻馬十一匹

小串村牛八十四隻馬廿九匹

森脇村牛四十五隻馬七匹

栗田村牛八十七隻馬十六匹

清原村牛五十六隻馬十六匹

東條町牛七隻馬十一匹

川西村牛四十二隻馬七匹

川東村牛百三十九隻馬七匹

福代村牛六十六隻馬五匹

久代村牛三百七十五隻馬廿一匹

戸字村牛百八十五隻馬十一匹

宇山村牛百六十九隻馬五十三匹

未渡村牛百四十隻馬廿五匹

山林

道後山 三坂村より、麓に小奴可村あり、持丸伯

耆新屋湯谷二村より、榎木多し、但山の七分

以上ハ、草木生立、大鷲と榎も、登臨東ハ備

中、美也、南ハ、四国路の山、ハ、雲伯の地、ハ、海と

望む

烏帽子山、油木村の原より、麓ハ、衣木、尺田

出雲の大馬木村小馬子

市神山 未渡村 あり、蕪ハ三上郡市村甲奴郡
 五箇村 神石郡お渡村 あり、蕪ハ
 三国山 小奴可村 あり、蕪ハ肉塩村 及び備中
 三宅村 伯耆上坂村 あり、故 あり、
 猫山 三坂村 あり、蕪ハ小奴可 あり、尾 あり、鳥原 あり
 敷村 あり、
 古社山 上千島村 あり、蕪ハ小串 下千島 及び
 備中湯野村 あり、

多飯辻山 塩原村 あり、蕪ハ森脇、栗田、所尾、三
 村 あり、
 権現山 久代村 あり、蕪ハ備中大野部村 あり
 今掃山 大屋村 あり、蕪ハ惠孫郡、小和田、組、小
 飯山、森村 あり、郡の中央 あり、蕪ハ高尾、八島
 田殿、三村 あり、

古城山 入江村 あり、以下 去山 封山 あり
 穴迫大平山 同村 別所田 鋤の界 あり、品 あり
 熊聖山 同村 尺田 あり
 古城山 上之原 藪 下之原 藪 並 小栗村 あり
 尾藤山 青掛山 並 小平子村 あり
 明見山 大佐村 あり
 津戸岩山 大屋 中迫 中野 三村 の山
 衣木山 大屋村 衣木 あり

大平丸山 大屋 中野 三村 の山
 八幡山 中野村 あり
 中山 小島原村 あり
 畠原山 油木村 あり
 郷之瀬山 中新開山 並 小三坂村 あり
 聖光寺山 小奴可村 あり
 宮山 野尻山 並 小森村 あり
 塔坪山 三状 綱山 並 小始終村 あり

宮山 川鳥村あり
德雲寺山 菅村あり
平上山 田黒村あり
定光山 加谷村あり
井手谷山 内堀村あり
阿伊谷山 請原村あり
三原野路山 二所 久代村あり
阿伊谷山 伊知古山 並小戸字村あり

為平野路山 中聖路山 掛山 石丸山 淺野山 並小
宇山村あり
菅丸山 三状網山 菅田山 並小 未渡村あり
四天賀伊山 矢筈藪 並小 平子村あり 以下共小
川 禁山あり
猫山 三布旗山 清延山 茶屋奈留山 長宇称山 町立
道山 道後谷原山 小坪頭山 並小 三板村に
あり

九
藩
通
志
卷

板井谷山、房牛峠山、並小奴可村あり

飯山、森村あり

飯山、田殿村あり

椈谷山、上平鳥村あり

早風山、久代村あり

砥丸山、宇山村あり

三本旗山、未渡村あり

持丸山、猫山、板井谷山、並小奴可村あり

並山、鉄山あり

大峠山、穴峠山、小屋谷山、塩谷山、並一所尾村あり

あり

吉谷山、清近山、二所頭地山、古楚山、秋常山、別

尺山、並上平鳥村あり

大加祢山、中津保宇楚山、並下平鳥村あり

竹渡一駄岩山、市神山、並未渡村あり

右鉄山より藩より鉄炉を打建へ

東城川
水原
油木
鳥の尾
山
及
古
屋
垣
内

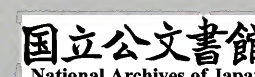
東城川は、水原、油木、鳥の尾、山、及、古、屋、垣、内、
より出、二水と源と、西南に流、東側ハ小
鳥原、八鳥、大佐、三村、西側ハ、田、錫、別、所、今、田、中、野
村、多、應、々、西、城、山、至、り、平、子、栗、二、村、の、界、を、過、て
三、上、郡、高、村、の、出、る、當、郡、の、内、凡、六、里、也、八、町、未
ハ、惠、蘇、三、次、兩、郡、を、通、り、石、見、江、の、川、に、入、り、
東、城、川、下、水、源、三、坂、村、道、後、山、より、出、て、南、に、流、れ

東城川

東城川は、水原、油木、鳥の尾、山、及、古、屋、垣、内、
より出、二水と源と、西南に流、東側ハ小
鳥原、八鳥、大佐、三村、西側ハ、田、錫、別、所、今、田、中、野
村、多、應、々、西、城、山、至、り、平、子、栗、二、村、の、界、を、過、て
三、上、郡、高、村、の、出、る、當、郡、の、内、凡、六、里、也、八、町、未
ハ、惠、蘇、三、次、兩、郡、を、通、り、石、見、江、の、川、に、入、り、
東、城、川、下、水、源、三、坂、村、道、後、山、より、出、て、南、に、流、れ

小奴可、加谷、田黒、塩原、竹森、菅、請原、川西、諸村、
鷹ヶ、東城、山、至り、久代村より、神石郡、小野村、小入り、
當郡の内、凡、八里、廿、町、備中、玉島、より、海、小、入り、
川、東城、より、公、有、極、川、と、稱、也、二、村、凡、八、里、廿、町、
帝釋川、水源、保田村、八頭谷、より、出、て、東南、上、流、
色、川、鳥、山、中、始、終、三、村、を、歴、下、未、渡、村、帝釋、より、
西、子、唐、門、神、橋、を、通、し、神、石、郡、相、渡、村、へ、出、下、未、
東城、川、小、會、り、當郡の内、凡、三、里、廿、五、町、

千鳥川、水源、備中、哲多郡、油野、境、神、近、より、出、上、子、
鳥、村、一、流、来、り、南、山、を、下、り、下、千、鳥、村、より、小、串、村、
の、水、と、添、へ、森、脇、村、を、通、し、栗、田、村、より、又、六、流、
を、受、け、川、西、村、より、東、城、川、小、入、り、水、行、凡、四、里、
あり、



新井池 小奴可村 あり

埜池殿迫下池 並小森村 あり

中芝山池 田原村 あり

大錢下堤池 同上堤立田池 並小川島村 あり

猫子地原池 竹森村 あり

野山迫池 田黒村 あり

加谷原池 上大鉄穴内西池 並加谷村 あり

大澤田池 佐原村 あり

脊戸池 所尾村 あり

大澤池 大植所池 並栗田村 あり

岩熊池 山神池 並小川東村 あり

十文字池 池之内池 並福代村 あり

波牟芝字原池 戸字村 あり

於毛太池 園並池 並小字山村 あり

鏡原池 朴峠上池 同下池 並小未渡村 あり

山
澤
通
志
卷

物産
深谷
...

物産

宇多芥 勇武菜 皆郷名なり、此二品、大屋村の

深谷に生る、風味甚佳なりといふ

薯蕷 油木村に生る、その傳あり

獨活 小奴可村、持丸山の物、傳あり

山淡婆姑 深山の蕨、自然に生る、蕨ありて、火

...

波駄加須呂 大屋村に生る、茅の如く、傳あり

矢筥竹 入江平子村をとり生る

香草 此のみの深山落葉の朽腐より生る

あり、菅郡の深山あり、良木の葉落積もると、

と、人の多りれば、其朽葉の中より、多く生る、

葉尤深し、貧民採て、乳し、四方に賣り、凡山深き

郡村、此のまじり産す

白砂利 未渡村、夏森谷あり、右勝部より、

白石英 平子村、大口原山あり

綿石 大佐村瀧戸より生る、色翠黒より、脈理

り、割て、よく見る、白く線入り如くあり、故石線と

も、なり

貝石 福代、栗田、大倉、三村の内あり

砥石 上千鳥、高尾、西村あり

礬石 平子村あり

志計魚 帝釋川、東城川あり、魚の本名、詳る

今御名、記す、下の吳岐同し

吳岐魚 八日鰻鱺 並小未渡村谷川山出

鯢魚 中野村深谷水山出

駒鳥 立貝 並小始終村山出

雉子 東城山出 名産と云

深山鷓 尺田山出 鷺山似尾 声云云

貉 獺 熊 熊 郡内深山嶺に出

鐵 當郡第一の産業 法民これよりて生活す

其の甚多し 其業山知郡より記せられ

ハハハ左ノ記キ

鉄坑 徳村山あり 是ハ金銀礦トハ違ヒ 深坑

ハハ生キハ多ク 岡阜ハ生キ 故ハ深ク坑有

ハ及リテ 昔ハ土鉄ヲ採リ 水際上持テ 淘洗

ハ故ハ其鉄ヲ採リ 坑ハ ありしハ 鉄坑ト

名つけし 今ハ山ハ 麓ハ 水ヲ引テ 流

ハ 故ハ坑ハ あり 故ハ 便寫ハ あり

岡ハ 平地トシ 故ハ 變ハ あり 此採鉄ノ業ハ 秋彼

岸入り、翌春の彼岸末迄、鉄汁田小入りハ
 苗也、害す多故なり、採鉄の法、まづ其山へ水手
 とつけ置て、山を堀くつゝ、水力少く、砂鉄を流し
 出、其流り口より下、大池、中池、乙池の三所、並
 て、すうく、泥水ハ、流き流きて、砂と鉄とを交すも
 の、産小、合す也、大池より、次第小洗ひ流し、乙池
 あり、製平、製一方は、この砂交り多し、乙池の槽
 へ、ガール、入きて、上より、洗水あせうを、つけ

元おり、先度も、さう、あつて、時ハ、砂ハ、軽くして、流き
 去り、鉄ハ、重くして、留り、黒鼠色、ふちり、さう、其取
 收り、多し、洗ひの、さう、ハ、鉄ハ、八分、砂二分と、多し、
 其、餘ハ、爐所、あり、精く、淘流たうりゅうすなり、此乙池より、
 下、小、一の、落、二の、落、三の、落、す、大川、落、して、其
 変り、あり、川、せ、せ、流、れ、落、し、海、砂、鉄、を、取、り、是
 等ハ、其、品、い、ま、廉、し、く、價、も、弥、賤、し、元、其、り、交
 り、の、ハ、一、駄、大、極、銀、三、四、匁、也、中、價、も、さ、う、なり

鉄性の厚薄洗の精粗も随ひ一宅有りて、
熟鉄の價時の高値も、
鉄爐ハ郡内官炉二所高炉十四所あり、皆山林
の可慶を見、
り炭ありて凡一場所あり、五六年も吹續くべ
き山を撰ぶ、三百夜をうり吹ても炭盡くたれ
ば、場をせかへ、
さ介所を求むなり、四日四夜一夜とす、
故に最初炭多

炭三千三百貫目を用ひて、
駄の介目廿六貫目、代銀凡三四十文と中價と
以て、
其搦甚大なり、炉を搦す所の地
を掘薪を積て、
総て場を改ま、
其費大なり、故に初め撰ぶ
と、
鉄人少、
作毛も、
幸に古来よ

新編
富山縣志
卷之
鐵

新編
富山縣志
卷之
鐵

新編 藩政通志 卷之八

予、鉄を生ずるに止むる、木を伐り、炭を焼て、熟
鉄を製し、誠、天賦の産業とす。一、鉄價、時
より下、高値、ひとりから、亦、業も亦、盛衰あり、と
き、生理を助、と、小なら、炉場役夫の名目
など、山縣郡、見、
割鉄、鍛冶、郡内、官場、六所、私場、三十二所、を置
る、れ、山林を、え、う、松栗等の小炭、多き、受に
打立、二日、六、吹、鏡、行、日、五十貫目を、吹て、割鉄、三



十二貫目を、得、西城、東城、二所の割鉄、長短も、ひ
と、く、ら、其、價、西城、鉄、一、駄、廿一貫、六百目、小
て、代銀、八十、文、中、價、と、東城、鉄、八、廿四貫目
あり、代銀、同、

炭 鉄炉、所、一、八、大炭を、焼、い、き、割鉄場、小鍛冶、一
は、小炭を、焼て、賣、此、業、甚、廣、一、故、小、深山、山谷
も、れ、ひ、の、外、小、竈、畑、立、ち、賑、ふ、あり、

九、新編 藩政通志 卷之八

